

農業協同組合  
**経営実務**  
 第十五卷 総目次

〔農協時評〕

農協の体質改善……………一  
 全国農協連への動き……………二  
 農林中金の民主化と訪欧調査団……………二  
 家の光会館と農協会館……………二  
 西尾新党と農協……………三  
 三年度農林予算と農協……………三  
 農協問題六つのカギ……………四  
 役員改選を活かそう……………五  
 賜の目をみるか自営農協……………五  
 信連コールの激増と農協貸出伸長問題……………五  
 農業金融問題の焦点……………六  
 日程にのぼる農協法の根本的再検討……………七  
 声なき声・農民の声……………八  
 農政の行方……………八  
 農業の地位の低下……………八  
 組合金融の刷新運動……………八

農協系統組織整備……………八  
 「経済白書」をめぐって……………九  
 安保問題の余波……………十  
 農政転換の兆し……………十  
 農協の体質改善と組合金融の刷新……………十  
 出そろった新農業政策……………十一  
 農村資金の流れ……………十二

〔組合論・経営論〕

農業協同組合情勢報告……………一  
 全国農協大会記……………A・B・C  
 単協合併と系統体質改善……………一  
 政治力強化と系統農協体質改善……………二  
 農業法人化問題の発生と経過（農業法人論1）……………三  
 系統組織の整備問題……………三  
 農業法人の実態（農業法人論2）……………四  
 農協事業運営の刷新強化……………五  
 農業法人の実例（農業法人論3）……………五  
 農業の基本問題と対策……………六  
 農協体質改善運動のすすめ方……………六  
 貿易自由化と農協……………六

農業法人の実例と構造および性格（農業法人論4）……………七  
 農民的立場からの合併財務処理……………七  
 農協における参事制確立の諸問題……………七  
 農業コンサルタントと農協……………八  
 総合農協における特産組合の運営……………八  
 伝統的農協理論の反省……………九  
 農業共同化を進めるために……………九  
 農協の現状と問題点（上・下）……………十  
 農協体質改善運動の体質改善……………十  
 農業法人問題の展望（農業法人論5）……………十一  
 打ち出された零細農協論……………十一  
 家族ぐるみ農協運動とそのすすめ方……………十二

考える女子職員達……………二  
 新聞広告と農協……………二  
 庭先で御意見拝聴……………四  
 農協給与の実態と課題……………四  
 農協はどのくらいの利益を出すべきか……………五  
 農家経済計画化運動と農協経営……………六  
 ある部落の一日（生活体験記）……………七  
 農協外務活動の実態……………七  
 農休日―その実態と意見―……………八  
 他農協に学ぶ職員一日留学の実際……………九  
 人事管理をめぐって（ケース・スタディ）……………十

〔法律〕

農業協同組合中央会とはどのようなものか・他（農協法入門講座）……………一  
 責任ある役員の間……………四  
 農業法人関係法律案の解説……………七

〔経営管理〕

「視察」「視察」というけれど……………二

〔業務〕

購買代金の現金決済制……………一  
 農協の売掛金……………一  
 購買代金現金決算制の運営……………一  
 営農貯金貸越制度のすすめ方……………二  
 ヤミ米は絶滅できるか……………三  
 農協共済事業の実務（上・下）……………三  
 健康農村めざす「入湯保養貯金」……………六  
 組合金融のあり方をめぐって……………九  
 営農貸付の考え方とすすめ方……………十

「営農貯金」の考え方とすすめ方	頼永 博人	十二
生活物資定期配給制度運営の実際	吉道 義勝	十二
農家負債整理の考え方とすすめ方	岩崎 貞雄	十三
村ですすめた農家の負債整理	若槻 耕三	十三
〔生産〕		
肥育牛預託事業の実際	若槻 耕三	八
家畜預託事業運営上の問題点をさぐる	近藤 整	十
農協集団養鶏の構想とすすめ方	畑谷 善助	十一
副業の理論と実際	深沢 清純	十一
N村の今昔（副業閑話）		十一
澱粉・澱粉糖のつくり方		二
農家でつくられる日用品		三
太陽熱利用温水器の造り方		四
ゴム印マジックインクの造り方		五
ノコギリ屑の利用の仕方		六
竹細工のいろいろ		七
大豆加工のいろいろ、他		八
着想とその発展のさせ方		九
樹液の利用		十
昆虫の飼育と利用		十一
植物の薬効①		十二

〔経理〕		
購買経理合理化の研究（上・下）	近藤 整	二、三
農協決算事務の点検表	大沢 義一	四
信用係の決算事務	市塚幸一郎	四
共同計算購買の決算手続	新堂 立市	四
共同事業決算の留意点	小川 正衛	四
決算とはどんなことか	星 三男	四
決算手続経理要領		四
信用事業の原価損益計算書	市塚幸一郎	七
剰余金処分の会計実務	甲村 正人	七
家畜預託事業の事務と経理	近藤 整	十一
農協における固定資産の任意評価	甲村 正人	十二
〔経営分析〕		
農協診断の考え方とすすめ方	山根 勝次	二
予備調査および問題点の把握	山根 勝次	三
組合員診断（組織体診断）のすすめ方	山根 勝次	三
役員診断の必要性和その着眼点	山根 勝次	四
職員診断の必要性和その着眼点	山根 勝次	五
財務診断のすすめ方とその着眼点	山根 勝次	六
経営目標のきめ方	山下 敬吉	七

財務分析の概念とその方法	山根 勝次	八
簡易な農家経営診断のすすめ方	宮入耕一郎	九
事務の診断とその着眼点	山根 勝次	九
業務報告書の診断とその方法	山根 勝次	十
回転率による診断の方法	山根 勝次	十一
資金運用表による診断	山根 勝次	十二
〔事務改善〕		
ハンドソート・パンチカードシステム		
による組合員管理	井村 徳光	一
信用業務における諸帳票の改善	下条 敏夫	一
事務用文書左横書きの意義とすすめ方	中村啓之助	一
信用業務とワンライティング・システム	速藤 一	二
各種カードの保管の仕方	八木 繁樹	二
事務用品と事務機械	大沢 義一	二
改善した経済事業事務	和地 一	三
伝票会計と販売事務	八木 繁樹	三
△事務改善事例の研究▽		
発表事例のとりまとめ	大沢 義一	三
事務改善と事務分析	中村喜代二	三
組織と業務分掌	大橋 五郎	三
事務改善と会計処理	酒井 昭二	三

事務改善と帳票会計	山根 勝次	三
改善した総勘定元帳	下条 敏夫	四
文書受発信の統制とその追求制度	八木 繁樹	四
共済掛金受払伝票と記入帳の工夫	小田原 勝	四
事務改善用語辞典	A・B・C	四、六
購買経理事務と帳票の改善	下条 敏夫	五
改善した受託販売事務のすすめ方	下条 敏夫	六
合理化した購買事務の実際	田村 重雄	六
購買品配達事務と運送事業所会計	下条 敏夫	九
農協事務改善のすすめ方	向井 和彦	五、七
総務関係事務（上・下）		五、六
信用関係事務（上・下）		七、八
購買関係事務		九
販売関係事務（上・下）		十、十一
共済関係事務		十二
〔監査〕		
決算監査の留意点	本山 悌吉	四
ドイツ農村協同組合運動における監査	荒巻敬資訳	八
〔資格試験〕		
農協職員資格試験演習		一、十二

昭和34年度農協監査士資格試験口述問題	二
昭和35年度農協監査士資格試験筆記問題	三
昭和35年度農協監査士資格試験筆記問題解説	七

〔法令通達解説〕

農業協同組合法第十条第六項の規定に基き 主務大臣の指定する金融機関を定める等 の件	二
---	---

農業協同組合及び農業協同組合連合会の行 なう共済事業に係る責任準備金の積立に 関する省令の一部を改正する省令の制定	三
農業協同組合の行なう共済事業の決算につ いて	四
共済部門別損益計算要領	五

農業協同組合整備特別措置法の適用をうけ た農業組合の整備促進について	八
三十五年産米穀の売買条件について	九
肉用素畜導入事業実施要綱について	十
肉用素畜導入事業経理要領・他	十三

〔実務相談〕

農協の郵便貯金取扱について	三
---------------	---

役員欠損補てん分担契約について	五
法律と模範定款例との表現の異同について	八
役員責任解除の時効	九
非出資農協から出資農協に切り替えた場合 の変更登記について	十一

「役員職務を行う者が不在とき」の意味 と、仮理事の性格について	十二
------------------------------------	----

〔掲示板〕

他農協で学ぶ職員留学	八
さか立ちしている農協	八
盗難予防に外灯設備	八
考えてほしい系統の農機具下どり	八
配布された農協共済事業をそしる文書	八
操業一ヶ月で休止した農協新設加工場	八
しきを削る農協と商人	九
会議・かいぎ・カイギ	九
苦悶する信用組合的農協	十
三十五年度の農協別貯金高ベストテン	十
農薬使用にご用心	十一
きらわれた？／＼稲刈部隊	十一
二つの行き方を示す果樹農家の農協利用	十一